

MOOGAMI

Decarbonization symposium



最上町脱炭素シンポジウム

～脱炭素と経済が循環する持続可能なまちづくりを考える～

開催の狙い

- 脱炭素社会実現に向けた意識の共有と啓発活動を行います。
- 関係者(町民、行政、地元企業および支援企業)の連携強化と情報共有の場をつくります。
- 小さく始められること、大きなビジョンの両面から、具体的なアクションをみんなで考えます。

基調講演

「最上町の暮らしの実態から見える脱炭素、光熱費削減の地域づくり」

東北芸術工科大学
デザイン工学部建築・環境デザイン学科 教授
三浦 秀一氏

[詳しくは裏面へ](#)

シンポジウム概要



熱供給事業で国内でも先進する最上町において、持続可能な地域の実現に向けたフォーラムを開催します。



各市町村の取り組み事例も交え最上町の持続可能なまちづくり、脱炭素に向けた町民の意識高揚を図ります。



登壇者・参加者によるワークショップをとおして最上町の将来について一体となって考えます。

令和5年

2023.11.11 **土** 参加無料 13:30～(開場 13:00～)

開催場所/みつざわ未来創造館 らいず(〒999-6107 山形県最上郡最上町大字満沢309-1)

主催:最上町役場 商工観光課

シンポジウムの構成

基調講演



「最上町の暮らしの実態から見える脱炭素、光熱費削減の地域づくり」

東北芸術工科大学
デザイン工学部 建築・環境デザイン学科 教授

三浦 秀一氏

高騰する電気代、石油代は家計にも事業にも負担になっていますが、脱炭素は光熱費の削減対策でもあります。今年の春に行った最上町の町民アンケートから見えてきた、町民の脱炭素と光熱費削減の可能性を紹介させていただきます。そこから見えてくる持続可能な地域づくりについて、一緒に考えていきましょう。

タイムスケジュール

- 13:30 開会のあいさつ
- 13:40 基調講演／三浦 秀一 氏
- 14:20 もがみ地産地消エネルギー合同会社
- 14:40 日本サステイナブルコミュニティ協会
- 15:00 休憩(10分)
- 15:10 質疑応答・ワークショップ
- 16:00 閉会のあいさつ／副町長

パネリスト



事例

「地域新電力として目指すこと」

もがみ地産地消エネルギー合同会社

赤川 健一氏

人は生きるためにエネルギーが必要です。自分たちが使うエネルギーを自分たちの手で作りたい、という思いから最上町で地域新電力会社を2023年3月に立ち上げました。電力供給や再生可能エネルギーの開発を地元の新電力会社が担うことの意義、目指したい未来について共有いたします。



講演

「最上町の再生可能エネルギーの可能性」

一般社団法人サステイナブルコミュニティ協会

木科 大介氏

皆さんの住む最上町には豊富な資源があります。地域の皆さんの大切な資源をエネルギーとして活用することで、脱炭素さらには持続可能な地域の実現に向けて進められるのではないのでしょうか。最上町について、当協会でも検討して再生可能エネルギーの可能性と町の中心にあるウェルネスプラザの脱炭素化についてお話しさせていただきます。

シンポジウム総評

「今後のエネルギー政策について」

最上町副町長
伊藤 勝氏

シンポジウムの総評と町の今後のエネルギー政策について方向性についてのお話しをしていただきます。

最上町のゼロカーボンシティ宣言について

最上町では令和3年12月9日の最上町議会12月定例会において、2050年までに二酸化炭素を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言しました。このシンポジウムを第一歩にアクションを起こしていこうと考えています！



お申し込み方法

参加のお申し込みは、以下の内容を記入しFAX送信、またはお申し込みフォーム(二次元コード)より受付をお願いいたします。先着順に受付し、定員に達し次第締め切らせていただきます。

ふりがな	人数
代表者氏名	名
TEL	FAXまたはメールアドレス

お問い合わせ先

最上町役場 商工観光課

〒999-6101 山形県最上郡最上町向町644
TEL 0233-43-2111 / FAX 0233-43-2345

お申し込み
フォーム

